

【学校教育目標】
～明るい未来を拓く～
社会に自立する生徒の育成

【校訓】 力強く 心豊かに たゆみなく

学校HP <https://www16.sapporo-c.ed.jp/kamishinoro-j/>

発行者：校長 山崎 武司

上 篠 路

仲間とともに挑み、育む秋へ

教頭 河合 博子

みなさん、実り多き夏休みを過ごすことができたでしょうか。部活動の大会やコンクールに打ち込んだ人、日頃はできない学びや体験に挑戦した人、あるいは自分自身とじっくり向き合う時間を過ごした人など、それぞれにとってかけがえのない日々であったことと思います。大きな事故やケガもなく、こうして元気に新学期を迎えられたことを、何よりもうれしく思います。

今日から始まる2学期は、大きな行事が目白押しの季節です。体育大会、学校祭、合唱コンクールなど。皆さんが主体となって創り上げるこれらの行事は、一人ひとりの可能性を大きく開花させる絶好の機会となります。

行事を成功させ、自分自身を大きく成長させるために、皆さんにぜひ心に留めてほしい大切な視点があります。それは「他者と協働する」ということです。

体育大会でバトンをつなぐとき、学校祭で一つの作品や発表を作り上げるとき、合唱コンクールで歌声を一つに重ねるとき。どの場面においても、自分ひとりの力だけでは成し得ない大きな感動が生まれます。互いの得意なところを生かし、苦手なところを補い合いながら、共通の目標に向かって歩みを進めることこそが「協働」です。他者と協働するときには、自分の意見を伝えることと同じくらい、仲間の声に耳を傾け、自分とは異なる考えや価値観を「なるほど」と尊重する姿勢が欠かせません。

しかし、大勢で何かをやり遂げようとするとき、いつもすべてがスムーズに進むとは限りません。練習で思い通りの成果が出なかったり、意見が食い違って衝突したり、時には「どうしてもうまくいかない」と途方に暮れてしまうこともあるでしょう。

そんなとき、思い出してほしい考え方があります。心理学や教育の分野で注目されている「ネガティブ・ケイパビリティ」という言葉です。

これは日本語で「安易に答えを出さずに、どうにもならない状況や不確実な事態に耐え抜く能力」を意味します。私たちは問題に直面すると、つい焦って「すぐに解決策を出さなければ」「白黒をはっきりつけなければ」と考えがちです。しかし、人間関係や集団での取組において、即座に正しい答えが見つかることはなかなかありません。

うまくいかないときや悩んでいるときに、焦って誰かを責めたり諦めたりするのではなく、「今は考え抜く大切な時間なんだ」と立ち止まり、割り切れないモヤモヤした状態をそのまま抱え続ける勇気をもってみてください。悩み、葛藤し、仲間と対話を重ねるその「耐え忍ぶ時間」の中にこそ、皆さんを大きく成長させる糧が隠されています。

思い通りにならない時間から逃げずに立ち向かった先にしか得られない絆や、真の達成感が必ずあります。結果の素晴らしいさはもちろん大切ですが、そこに至るプロセスでどれだけ悩み、仲間と真剣に向き合ったかという経験こそが、生涯の財産となるのです。

さあ、いよいよ実りの秋のスタートです。失敗を恐れず、仲間を信じ、モヤモヤする過程さえも自分の成長の糧としながら、誇りある挑戦を続けていきましょう。先生方はいつでも皆さんを応援し、見守っています。

体育大会について

9月4日(金)に予定されている体育大会ですが、今年度も本校のグラウンドと体育館で行います。

保護者の皆様におかれましては、グラウンド種目のみご観覧いただけますので、あらかじめご了承ください。また、体育大会のご観覧のためにご来校される際は、学校周辺の混雑等を避けるため、お車でのご来校はご遠慮くださいますようお願いいたします。

SNSでのトラブルを防ぐために保護者ができること Vol.2

今や子どもたちにとって SNS は、友達との交流や情報収集の場として欠かせない存在です。しかし、その裏には誹謗中傷、個人情報の漏えい、なりすましなど、さまざまなトラブルが潜んでいます。保護者として、子どもが安心して SNS を使えるようにするためには、どんなことができるのでしょうか。

まず大切なのは、「SNS は公共の場である」という意識を子どもにもたせることです。LINE や Instagram などは、気軽に使える反面、発信した内容は多くの人に届き、時には予期せぬ形で拡散されることもあります。「友達だけに見せるつもりだった写真が、知らない人に見られていた」—そんな事態を防ぐためにも、投稿前に「これは誰に見られても大丈夫か？」と考える習慣をつけさせましょう。

次に、家庭でのコミュニケーションが鍵になります。SNS の使い方について、日常的に話し合える関係性を築くことが重要です。「困ったことがあったら、すぐに相談してね」と伝えておくことで、子どもがトラブルに巻き込まれた際にも早期に対応できます。逆に、保護者が SNS に対して過度な不安や否定的な態度を示すと、子どもは隠れて使うようになり、かえってリスクが高まります。

また、保護者自身も SNS の仕組みや流行をある程度理解しておくことが大切です。子どもが使っているアプリの特徴や、最近のネット上のトラブル事例などを知っておくことで、具体的なアドバイスができるようになります。

SNS は使い方次第で、子どもにとって大きな可能性を広げるツールにもなります。だからこそ、保護者が「禁止する」のではなく、「見守る」「話し合う」姿勢を持つことが、トラブルを防ぐ第一歩なのです。

編集後記

夏といえば、虫が大量発生する時期ですね。虫が本当に苦手な手では触れもしないのですが、どうしてでしょう。クワガタやカブトムシは触れてしまいます。カブトムシは北海道にいないと言われていますが、調べてみるとたくさんいるとのことなので夜中に探しに行きました。メスは見つけましたが、オスが見つかりません。どなたかオススメスポットを教えてください。

本日から2学期がスタートしました。まだまだ暑い日が続きますので引き続き体調管理を徹底し、健康で楽しい学校生活を過ごしてほしいと思います。(教務学籍係)

9月の行事予定

4日(金) 体育大会

7日(月) ~ 第3期時間割開始

10日(木) 3年生学力テストA

11日(金) 立会演説会 生徒会役員選挙

15日(火) 委員会・局会・生徒協議会